



東京文化発信
プロジェクト



豊島区



豊島区×NPO法人アートネットワーク・ジャパン×東京アートポイント計画

としま アート ステーション 構 想

KOSO

ART STATION

TOSHIMA





東京文化発信
プロジェクト



豊島区



OHIYURA

豊島区×NPO法人アートネットワーク・ジャパン×東京アートポイント計画

としま アート ステーション 構 想

KOSO

ART STATION

TOSHIMA

としま
TOSHIMA

アート
ART STATION

ステーション

構
想
KOSO

豊島区の実験 ii

「としまアートステーション構想」とは iv

アートプロジェクト vi

アートサポート viii

東京23区の北西部に位置する豊島区は、その中心である〈中央地域〉に池袋駅を有した副都心という面を持ちながら、〈南部地域〉の雑司が谷、目白、高田などは歴史や文化を反映し、坂道や緑豊かな街並みが特徴的な「東京／ローカル」とも呼べる街です。他にも大正から昭和にかけて多くのアーティストが住み、創作活動をおこなっていたアトリエ村「池袋モンパルナス」から芸術文化が花開いた〈西部地域〉、池袋の北に位置しJR埼京線や東武東上線などの3駅が近接する鉄道の利便性が高い〈北部地域〉、大塚、巣鴨、駒込などJR山手線が走り交通の便がよい〈東部地域〉など、さまざまな可能性を持つ地域資源にあふれています。

豊島区ではこれまでも文化施設の建設やイベントの実施を始めとした多様な文化事業がおこなわれてきました。こうした経験からも既に十分に豊かな街であるのかもしれませんが、しかし、時代の空気がめまぐるしく変わる今後の社会を考えたときに、豊島区だからこそ実現できる未来へ向けた実験をおこなうことが必要ではないでしょうか。その試みがとしまアートのステーション構想です。そしてこの構想の先に見据えるのは新しい公共活動のあり方。関わる人が主体的に文化活動をおこない、その活動がさらに多くの人の主体性を生むような未来の公共活動を目指します。

この事業は、東京都、豊島区、東京文化発信プロジェクト室、NPO法人アトネットワーク・ジャパンの4者によりおこなわれ、持続的な文化事業を目指しています。そして区内に在住・在勤の方々はもちろん、アートの携わる学生やアーティストなど豊島区に関わるすべての方々を対象としています。

昔から美術館や劇場のような文化施設は、作品を観るための場として親しまれてきました。ここ数十年で参加者が創作活動に関われる「ワークショップ」と呼ばれるプログラムも生まれ、文化施設は作品を「観る」だけの場ではなく、「つくる」こともできる場となりました。しかし「ハコもの」と揶揄されるような建物中心の事業展開は根強く残っており、地域に住む人びとが当事者、つまり「自分のこと」として、主体的に文化事業に関わるのはまだ難しいのが現状です。これからの文化事業に求められることは、建物を母体としたスペースや活動の機会の提供だけでなく、**個々人の自発的な活動を支援するシステム**をつくることではないでしょうか。

としまアートステーション構想は、こうした従来の文化事業の更新を考えて生まれた試みです。豊島区民を始めとするさまざまな人が、区内の魅力あふれる場所で地域資源を活用し、アート活動を展開できる「**環境システムの構築**」と、それによる「**コミュニティ形成の促進**」を目指しています。

多面的な顔を持ち、魅力あふれる場所の数々。この地で「何かを始めたい」という人たちの想い。そんな豊島区の可能性を活かすため、としまアートステーション構想では新しい施設の建設ではなく、**地域や人びとの想いをつなげるシステムづくり**を目指しています。自然に発生したささやかな活動が結び付くことで人や街とともに暮らすことができる、そんなきっかけをつくり出すための「**自分ごと**」の文化事業です。そのシステムとして、主体的なアート活動を実現するために「**アートプロジェクト**」と「**アートサポート**」のふたつの取り組みをおこなっています。

アートプロジェクトとは、街なかに出て、社会と関わり地域住民を巻き込みながら展開していくアート活動で、一九九〇年代より国内各地で盛んにおこなわれてきました。作品そのものよりも制作のプロセスを重視し、日常生活にはない出会いの機会を生むアートプロジェクトはこれからの文化事業にとって欠かせないものとなるでしょう。

としまアートステーション構想では、二〇一一年度から二〇一二年度にかけてアーティストたちによるアートプロジェクトを展開してきました。藤浩志による「Miracle Waterをつくる。」ではクリエイティブチームが地域に潜在する活動の種を探し、実際の活動へつなげるサポートをおこないました。ひびのこづえは参加者同士の関係性を生み出すため、恒常的なワークショップ「虫

をつくるワークショップ」をおこない、また岸井大輔の「Table」では演劇としての「こと」を起こすことを通して街なかの人や場所、活動をつなぎあわせていきます。阿部初美による「としまで子育て」では演劇の手法を用いて、子育てという社会的課題を参加者とともに考える場を生み出しています。LPACKの「LAND PARK」は、ゆるやかな出来事を通して公共的な場のあり方について考え、EAT & ART TAROの「ポットラックパーティー」としま「やEAT & ART TAROと中山晴奈の「キッチンプロジェクト」では、食とアートをキーワードに人と人、人と街がつながるプロジェクトに取り組んでいます。

こうしたアートプロジェクトを通して、区内にある地域資源を活用したアートが提示されてきました。それは日常では気付くことのなかった新たな価値観や、自分でもやってみたいという意欲の発見につながります。自ら街の課題を考え解決に向かって動く、というような創造的な街への関わり方が生まれることを期待できるのではないのでしょうか。

アートサポートは、アートプロジェクトをきっかけに始まる豊島区民の自発的な活動を支援する役割を担います。

としまアートステーション構想ではさまざまなかたちでアートサポートを展開しています。区民の自発的なアイデアを受け、それを活かすために人と人、人と街をつなぐ役割を担います。そこから主体性のあるアート活動が始まり、持続していくことが期待されています。また雑司が谷にある千登世橋教育文化センター内の元カフェスペースを活用した、としまアートステーション「Z」では、地域に住む人びとやアーティストが集い、さまざまな情報交換や交流がおこなわれています。あるときはアート活動をスタートしたい人のための相談所、あるときはイベント会場、またあるときはコミュニティカフェ、と世代を越えてより多くの区

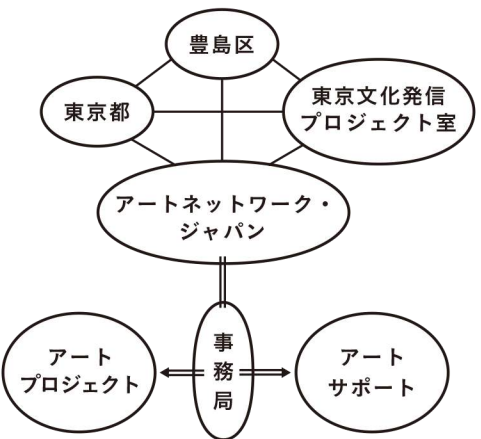
民が利用できる開かれた場所となることを目指しています。さらに、地域、アート、場づくりなどをキーワードに、さまざまな分野で活躍するゲストを迎え、アート活動の実践へ向けた勉強会を開催しています。

区民とアーティストが協働する「アートプロジェクト」と、それをきっかけに始まる自発的なアート活動を支援する「アートサポート」。こうした主体的に文化活動に関わる環境を用意することで区内のあちこちに「としまアートステーション」が生まれることを期待しています。それらの「アートステーション」とは、自宅のような身近な場所を舞台とした等身大のささやかなアート活動ですが、3・11以降の社会ではこのような公共活動のあり方があらためて問われているのではないのでしょうか。

用意された公共から主体性のある公共へ。アート活動を通じて「人と人」「人と街」の間に、強く暖かい絆が生まれる。豊島区をそのような街にしていこうためのアートを用いた試みです。

としま アートステーション構想

豊島区文化政策推進プランのシンボルプロジェクトである「新たな創造の場づくり」のプログラム及び東京文化発信プロジェクト事業「東京アートポイント計画」の一環として、NPO法人アートネットワーク・ジャパンとの連携により実施しています。



豊島区の文化政策

豊島区は二〇〇三年三月に策定した「豊島区基本構想」のなかで、文化によるまちづくりを基本方針の柱の一つとして位置づけ、〇五年九月「文化創造都市宣言」、〇六年四月に「豊島区文化芸術振興条例」を施行、区民・NPO法人・企業・大学等地域の人々とともに、「文化の風薫るまち」としまの実現に向け、さまざまな文化施策・事業を展開しています。このような長年にわたる取り組みが高い評価を受け、〇九年一月に東京都で初となる「平成二〇年度文化庁長官表彰（文化芸術創造都市部門）」を受賞しました。

東京アートポイント計画

東京の様々な人・まち・活動をアートで結ぶことで、東京の多様な魅力を地域・市民の参画により創造・発信することを目指し、「東京文化発信プロジェクト」の一環として東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団が展開している事業です。

NPO法人アートネットワーク・ジャパン

二〇〇〇年に設立したアートNPOです。芸術の社会的な力を取り戻すために国際的視野を持って「フェスティバル／トーキョー」や「にじすがも創造舎」の企画運営を中心に、さまざまなプロジェクトを立ち上げています。東京都や豊島区をはじめとする自治体と強力なパートナーシップを組み、多くの文化事業を手がけています。

豊島区

東澤昭（二〇一二年三月、吉末昌弘（二〇一二年四月） 文化商工部長
八巻規子 文化商工部文化デザイン課長
富樫由美 文化商工部文化デザイン課係長
高井真明（二〇一二年三月）、長谷川三保子（二〇一二年四月） 文化商工部文化デザイン課

東京文化発信プロジェクト室

森司 東京アートポイント計画ディレクター
坂本有理、井尻貴子 東京アートポイント計画プログラムオフィサー

NPO法人アートネットワーク・ジャパン

蓮池奈緒子 アートネットワーク・ジャパン代表
細川浩伸、新妻葉子、宮崎あかり、渋谷由佳、米原晶子

としまアートステーション構想検討メンバー

西村佳哲 リビングワールド代表／プランニング・ディレクター／働き方研究者
トム・ヴェンセント トループ・ネットワークス代表／インターネット・ディレクター
佐藤慎也 建築家／日本大学理工学部建築学科准教授

としまアートステーション構想事務局

ディレクター 佐藤慎也
チーフマネージャー 細川浩伸
コーディネーター 新妻葉子、冠那菜奈、西島恵子
アドミニストレーター 宮崎あかり
インターン 服景美、鬼澤舞、鄭晶晶、山崎友貴
スタッフ 堀切梨奈子、内野孝太

シンポジウム

「人とまちをつなぐアート／その新たな展開と可能性」

〈としま〉におけるアートプロジェクトのこれからについて語る！そしてその先に見える未来とは？

2011年10月24日（月）〈会場〉雑司が谷地域文化創造館 多目的ホール

基調講演では、北川フラム氏、中村陽一氏は共通して「既成の概念やシステムの問題が顕在化する時代において、自分たちが暮らす街で何かに真剣に取り組むことが大切である」と語りました。ディスカッションでは、システムの重要性とともに、システム完成後に生じる標準化や画一化が論点になりました。用意されたシステムの中に留まる活動が増えると、プロジェクトや表現が衰退してしまう可能性が指摘され、枠組みの中で活動が完結しない環境づくりについて議論されました。

参加：141名

▶ パネリスト

北川フラム（アートディレクター）
中村陽一
（立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科委員長・教授）
佐藤慎也（建築家／日本大学理工学部建築学科准教授）
東澤昭（豊島区文化商工部長（当時））
蓮池奈緒子（NPO法人アートネットワーク・ジャパン代表）



▶ モデレーター

森司（東京アートポイント計画ディレクター）

2年目のとしまアートステーション構想—アートで探る豊島区の可能性

2012年7月24日（火）〈会場〉としまアートステーション「Z」

文化的な地域資源を持ち、先駆的な文化政策を進めてきた豊島区だからこそ、従来のような施設などの直接的な提供にとらわれることなく、実験的な試みがおこなわれていることを再認識。これまでにない構想を実現するために悩みながら進んできた1年を振り返るとともに、主体性を尊重する構想には用意された解答がないため、模索を続けている現状が語られました。

参加：54名

▶ パネリスト

八巻規子（豊島区文化商工部文化デザイン課長）
佐藤慎也（建築家／日本大学理工学部建築学科准教授）
森司（東京アートポイント計画ディレクター）

▶ プレゼンター

岸井大輔（劇作家） 阿部初美（演出家）
EAT & ART TARO（アーティスト）
中山晴奈（フードデザイナー）
西村佳哲（働き方研究者）



としまアートステーション構想コンセプトブック 2011-12年度

発行日 平成25（2013）年2月15日

監修 佐藤慎也、森司

編集・執筆 としまアートステーション構想事務局

編集協力 小倉裕介（現代企画室）、佐藤恵美

写真 富田了平、としまアートステーション構想事務局

アートディレクション FLATROOM

印刷 株式会社ツーカー

発行 としまアートステーション構想事務局

〒171-0032 東京都豊島区雑司が谷3-1-7

千登世橋教育文化センターB1F としまアートステーション「Z」

© 2013 Toshima Art Station KOSO

Zの会

2011年8月～
〈会場〉としまアートステーション「Z」

としまアートステーション構
想に関わるすべての人びとの
ために、「Z」で開催される**公
開勉強会**です。さまざまな分
野で活躍しているゲストを招
き、そこで得た知識や方法を
活かしながら、**自発的なア
ート活動の実践に役立てていき
ます。**

また「Zの会」の特別編とし
て、「**ともに生きてゆく**」と
いう欲求を巡って、それを可
能にする技術を「語る」「つ
くる」「暮らす」の3つのシー
ンにわけて模索する勉強会を
開催。西村佳哲の企画・進行
により、各回2名のゲストを
各地から招き**トークセッシ
ョンとワークショップ的な時間**
を織り交ぜた5時間にわたる
プログラムを実施しました。

▶ 活動

2011年
8月31日(水)
Zのおひろめ
ゲスト：須川咲子(Social Kitchen運営 hanare デ
ィレクター) 参加：41名

10月11日(火)
自分の場所をみんなのために開くこと
ゲスト：アサダワタル(日常編集家/事編
kotoami 代表) 参加：18名

11月30日(水)
使われなくなった場所を使うこと
ゲスト：嶋田洋平(建築家/らいおん建築事務所
代表) 参加：22名

12月19日(月)
ソーシャルメディアを使うこと
ゲスト：濱野智史(評論家/情報環境研究者)
参加：25名

2012年
1月20日(金)
創造活動をおこなう人を支援すること
ゲスト：杉崎栄介(アーツコミッション・ヨコハ
マ担当リーダー) 参加：11名

2月3日(金)
地域で人をつなぐこと シカを食しながら
ゲスト：友廣裕一(つむぎや代表) フードコー
ディネート：EAT & ART TARO 参加：29名

2月28日(水)
街と関わる中で考えたこと
ゲスト：岸井大輔(劇作家) 参加：14名

2013年
1月29日(火)
毎日通える〈文化〉の場をつくること
ゲスト：山本和豊(dessence) 参加：10名

特別編「ともに生きる技術」

▶ ファシリテーター

西村佳哲 [にしむら・よしあき]
(リビングワールド代表/プランニング・ディレ
クター/働き方研究者)

1964年東京生まれ。武蔵野美術大学卒。つくる・
書く・教える、三種類の仕事。建築分野を経て、
ウェブサイトやミュージアム展示物、公共空間
のメディアづくりなど、各種デザインプロジェ
クトの企画・制作ディレクションを重ねる。多
摩美術大学、京都工芸繊維大学 非常勤講師。著
書に『自分の仕事をつくる』(ちくま文庫)など。

▶ 活動

2012年
9月2日(日) 語る
ゲスト：橋本久仁彦(シアター・坐・フェンス代表)、
西原由記子(東京自殺防止センター元所長) 参加：
37名

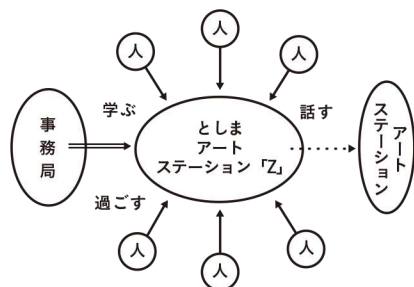
10月7日(日) つくる
ゲスト：友廣裕一(つむぎや代表)、笹尾千草(コ
ラボラトリー代表) 参加：27名

11月4日(日) 暮らす
ゲスト：影山知明(NPO法人コレクティブハウジ
ング社前代表理事)、坂倉杏介(慶應義塾大学講師/「芝
の家」運営) 参加：27名



としま アートステーション「Z」

としまアートステーション構
想の拠点として、さまざまな
活動がおこなわれる場所。豊
島区雑司が谷の千登世橋教育
文化センター内にある、キッ
チンを持った元カフェスパー
ス。区民とアーティスト、事
務局の情報交換・交流の場所
です。



▶ 概要

東京都豊島区雑司が谷 3-1-7
千登世橋教育文化センター B1F

東京メトロ副都心線「雑司が谷」駅 2 番出口直結
都電荒川線「鬼子母神前」駅より徒歩 2 分

TEL : 070-5579-8538 (PHS)
E-mail : tojiawase@toshima-as.jp

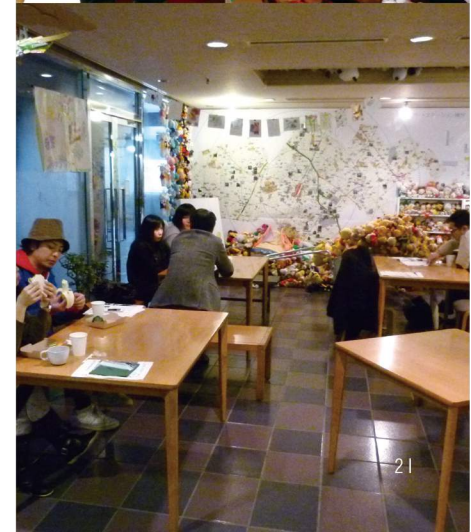
2011 年度来館者 : 1,582 名
2012 年度来館者 : 3,176 名
(イベント参加者を除く。2012 年度は 13 年 1 月までの集計)

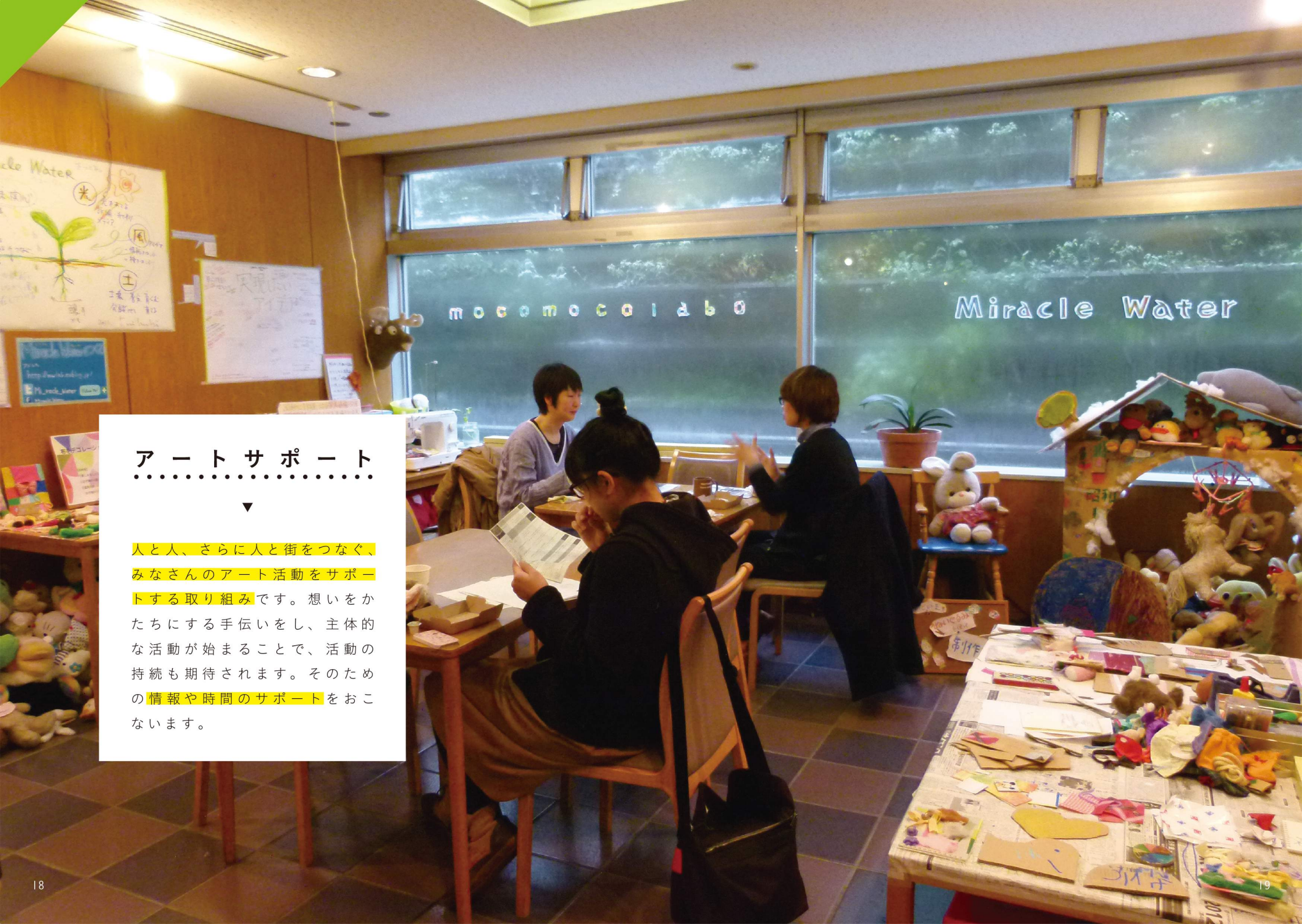
アート コンシェルジュ

参加者の自発的なアイデアに
対して、自活性、継続性を促
すための相談をおこないます。
アートプロジェクトに参加し、
自分でアート活動を始めてみ
たいと思った方、アートを生
活や活動に取り入れたいと考
えている方、おこなっている
アート活動をより発展させたい
方へ、役立つ情報提供やア
ドバイスなどをおこないます。

▶ 活動

2012 年度相談件数 : 11 件





アートサポート



人と人、さらに人と街をつなぐ、みなさんのアート活動をサポートする取り組みです。想いをかたちにする手伝いをし、主体的な活動が始まることで、活動の持続も期待されます。そのための情報や時間のサポートをおこないます。

キッチンプロジェクト

2011年12月～
〈会場〉としまアートステーション「Z」

「食とアート」を通して人と人がつながる、「Z」のキッチンを活用した実験プロジェクト。中山晴奈の「食べるを分解する」では、テーマにあわせて食に携わるゲストを招き、昔ながらの宴会スタイルで食事を楽しみ、さまざまな出会いや会話が生まれる空間を創造しました。EAT & ART TAROが加わった「実験」では、みんなが集まる場をつくり出すとともに、地方の食材や外国の食文化などに触れ、その可能性を検証する実験をおこないました。

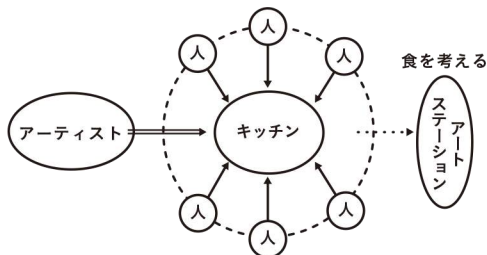
▶アーティスト

EAT & ART TARO (アーティスト)

P14 参照

中山晴奈 [なかやま・はるな]
(フードデザイナー)

1980年千葉県生まれ。筑波大学卒業後、東京藝術大学大学院先端芸術表現を専攻し、修了後は会社勤務と並行して食のデザインで週末起業をする。2008年よりNEXT KITCHENの活動を開始、美術館や博物館で食を使ったコミュニケーションデザインや出張料理、ワークショップなどをおこなう。調理師専門学校や美術大学の講師も務める。SFC研究所上席所員(訪問)として、地域と食のプロジェクトにも参加。2012年よりNPO法人フードデザイナーズネットワーク理事。
<http://fooddesigners.net>
<http://nextkitchen.net>



▶活動

食べるを分解する (中山晴奈)

2011年
12月9日(金) まるごとカモを堪能するフルコース ゲスト:小野寺紀允(農家レストラン「菜あ」),坂本大三郎(イラストレーター/山伏) 参加:30名

2012年
1月19日(木) 食の仕事で食べていく ゲスト:森岡祥倫(フード&アートブックコレクター/東京造形大学教授),小松山聡子(山フーズ代表) 参加:34名

3月21日(水) サウンドフード・ラボラトリー ゲスト:オクダサトシ(ダンスカンパニー・コンドルズメンバー) 音響:大和田俊(音楽家) 参加:23名

実験 (EAT & ART TARO + 中山晴奈)

2012年
7月17日(火)
ダチョウのたまごと出会う 参加:27名

9月18日(火)
韓国のおせっかいなご飯を食べる 参加:12名

10月25日(木)
魚の価値を考える(メジカ) 参加:13名

11月29日(木)
鮪・魚の価値を考える(チョウザメ) 参加:11名

12月12日(日)
森を食べる(シイタケ) 参加:11名

2013年
1月18日(金)
その日の野菜から 参加:18名



ポットラック パーティーとしま

2011年11月～
〈会場〉としまアートステーション「Z」

EAT & ART TARO の設定した
テーマに沿って、商店や飲食店
から食品を購入し持ち寄り「食
を介したコミュニケーションを
通じて街と親しむ」パーティー
を開催。食べ比べながら、それ
ぞれが買って来た食べものや
お店、街の情報などを交換し、
語り合います。「としまポット
ラッククラブ」と名付けたクラ
ブも誕生しました。

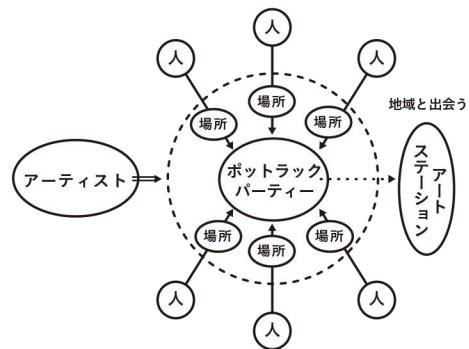
<http://potluckclub.web.fc2.com>

▶アーティスト

EAT & ART TARO
[イートアンドアート タロー] (アーティスト)

食をテーマにした作品をつくる現代美術ア
ーティスト。調理師学校卒業後、レストラン勤務
など飲食店での料理経験を経て、食に関するプ
ロジェクト作品制作、美術館のカフェなどのプ
ロデュース、さまざまなアートイベントのケー
タリングなどを手がける。地域のアートイベ
ントや食育活動などに多数参加し、プロジェクト
作品を多く手がける。

<http://eat-art.s2.bindsite.jp>



▶活動

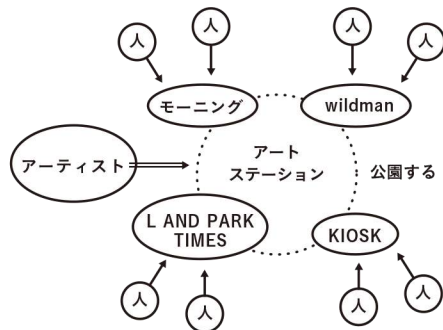
- 2011年
11月18日(金) 雑司が谷・目白エリア 参加：15名
12月18日(日) 雑司が谷・目白エリア | おやつ編
参加：6名
- 2012年
1月22日(日) 雑司が谷・目白・池袋エリア | パンに
合うもの編 参加：4名
2月22日(水) 雑司が谷・目白・大塚エリア | 酒のつ
まみ編 参加：6名
3月18日(日) 雑司が谷・目白・巣鴨エリア | 飯の友
編 参加：12名
5月19日(土) 豊島区エリア | 商店街編 参加：7名
6月27日(水) ショートケーキ編 参加：5名
10月31日(木) フランスパン編 参加：3名
12月9日(日) ブリン編 参加：4名
- 2013年
2月6日(水) 板チョコ編



L AND PARK

2011年10月～
〈会場〉としまアートステーション「Z」ほか

L PACK とともに、**公共空間や公園について考える**プロジェクト。なんとなく「そこ」にいるようで、それぞれが思い思いに過ごしている場所を「公園」、「そこ」で見られる、一人ひとりの自発的行為を「公園する」。そんな表現を使いながら、L PACK が「**公園する人**」の増えるきっかけづくりをおこないます。早朝の出会いを演出する「モーニング」、ゲストとともにいろいろな遊び方を試す「wildman」、公共空間を考える新聞「L AND PARK TIMES」、移動できる「KIOSK」の他に、「Z」を公園に見立てた展示「performance」も開催。



▶ アーティスト

L PACK [エル パック] (カフェユニット)

小田桐奨、中嶋哲矢によるカフェユニット。バックパックに詰めたカフェをさまざまな場所で開封し、「コーヒーのある風景」をつくりだす。コーヒーを媒体とした人との出会いやコミュニケーションの誘発と、臨機応変な空間演出により、街の要素のひとつになることを目指す。2007年よりコーヒーのケータリング活動開始。2010年～12年「竜宮美術旅館」(横浜)、2012年「現在民藝館丸山邸」

▶ 活動

L AND PARK

2011年10月20日(木)、26日(水)、30日(日)、
11月2日(水)、9日(水)、23日(水)、30日(水)、
12月7日(水)、14日(水)、21日(水)、
2012年1月11日(水)、18日(水)、25日(水)、
2月8日(水)、3月7日(水)

「L AND PARK TIMES」

～広げるだけで「公園する」ことができる新聞～
Vol. 1～10

「L AND PARK」で good morning

～たとえば、いつもより1時間早く起きて、モーニングを食べてみるとする～

2011年
10月20日(木) 参加：9名
26日(水) 参加：17名
30日(日) 参加：6名
11月30日(水) フレンチトーストとカフェオレとハチミツ
参加：22名
12月21日(水) 参加：11名
2012年
1月25日(水) 冬っぽい温かさ 参加：20名
2月29日(水) 朝のピクニック 参加：24名
3月21日(水) L AND PARK で朝食を 参加：46名
8月19日(日)、20日(月) フルーツ 参加：33名
9月9日(日)、10日(月) 野生 参加：42名
10月14日(日)、15日(月) 散歩する 参加：59名
11月11日(日)、12日(月) 積み重ねる 参加：42名

日曜日9：00～11：00 月曜日7：30～9：30
モーニング+コーヒー 「L AND PARK TIMES」付き

「L AND PARK」と wildman

～そして、公園でやれることをやってみる～

2011年
11月24日(木) wildman：青島琢治(建築家)、敷浪一哉(建築家) 参加：8名
12月7日(水) wildman：田村友一郎(アーティスト) 参加：7名
2012年
1月11日(水) wildman：櫻井淳(建築家) 参加：6名
18日(水) wildman：安野太郎(作曲家) 参加：4名
2月8日(水) wildman：辻琢磨(建築家) 参加：6名
3月14日(水) wildman：快快 -faifai- (演劇カンパニー) 参加：8名

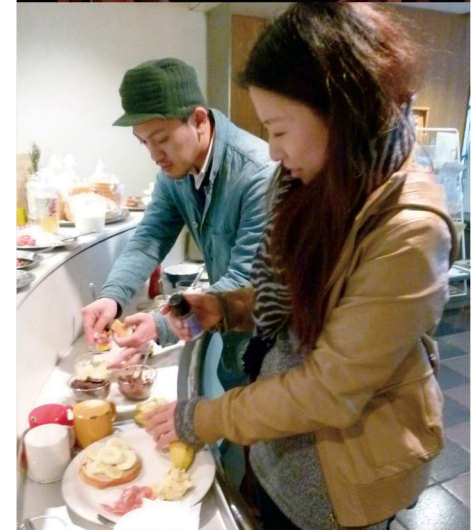
「L AND PARK」の performance

～それは公園なのかもしれない～

2012年3月14日(水)～21日(水)

「L AND PARK」の KIOSK

～とりあえず、何か買って過ごしてみる～



としまで子育て 子育てを考えるワークショップ

2012年9月～12月
〈会場〉としまアートステーション「Z」ほか
千登世橋教育文化センター内

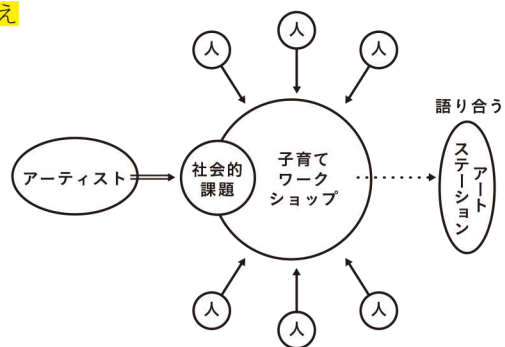
さまざまな世代の参加者と、地域や社会の中における社会的課題「子育て」について考えるワークショップ。「子育てを母親ひとりに任せすぎています。この状況を、子育てに関わるいろいろな立場の人たちと共有しなければいけない」と言う、自身も子育て中の阿部初美の体験にもとづき考案されました。演劇の手法を用いて、参加者とともに子育てを考え、最後に映像インタビューやリーディングを交えた発表会を開催。

▶ アーティスト

阿部初美 [あべ・はつみ] (演出家)

故太田省吾に師事後、2000年より演出家として活動。S.ベケット後期作品を多数演出後、2006年より、にしすがも創造舎レジデントアーティストとして、ドキュメンタリー的な作品『4.48サイコシス』『アトミック・サバイバー』『エコノミック・ファンタスマゴリア』を東京国際芸術祭などで発表。東京藝術大学・山口情報芸術センター・いわきアリオスなどでも講師を勤める。2010年に出産。現在は育児をしながらワークショップを中心に活動中。

<http://abehatsumi.dreamlog.jp>



▶ 活動

ワークショップ

2012年
9月6日(木) 参加：12名
15日(土) 参加：9名
20日(木) 参加：11名
29日(土) 参加：10名
10月4日(木) 参加：9名
18日(木) 参加：11名
20日(土) 参加：6名
27日(土) 参加：5名
11月8日(木) 参加：6名
18日(日) 参加：8名

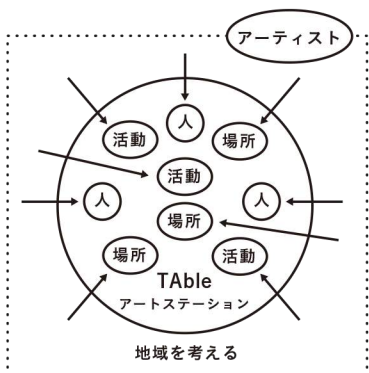
発表会 ランチ de ディスカッション
2012年12月2日(日) 参加：62名



Table

2012年4月～
 〈会場〉豊島区内各所および区界近辺

岸井大輔による演劇プロジェクト。**豊島区に潜在する可能性**を話し合うため、**いろいろな人が集う「テーブル」**を探し、つくり、考えます。「としま」の頭文字「T」と、可能性を意味する「Able」を合わせ「Table」と名付けました。最初のプログラム「diVISION」では、**他区との境界に注目**しました。指示に沿ってリサーチメンバーが区界を調査した結果をWEB上に可視化。その調査報告プログラムとして、さまざまなゲストを招いての**勉強会や対話**、調査の現場をめぐる**散歩**、調査資料の**展示**などをおこなう「豊島区界」を展開しています。現在進行中のプロジェクト。



▶ アーティスト

岸井大輔 [きしい・だいすけ] (劇作家)

1970年生まれ。演劇の素材を人間の集団ととらえ、他ジャンルで追究された創作方法による形式化が、演劇においても可能かを問う作品群を制作発表している。2008年よりPLAYWORKS主宰。代表作『P』『potalive』『まちから創る』『文(かきことば)』『東京の条件』
 プレイワークス <http://playworks.me>

▶ 活動

岸井大輔とまち歩き | 界に立つ

- 2012年
- 9月23日(日) 参加: 7名
- 10月28日(日) 参加: 13名
- 11月11日(日) 参加: 6名

豊島に潜在する可能性を調査し可視化する | diVISION

- 2012年9月1日(土)～2013年1月12日(土) <http://divisiontable.web.fc2.com>
- 9月1日(土)～11月15日(木) step 1～24
- 10月7日(日), 8日(月) step 13 区界上を歩いて、豊島区を1日で一周する 参加: 36名
- 12月15日(土), 21日(金), 22日(土), 2013年1月11日(金), 12日(土) step 25 記憶を記録するために(鑑賞者) 参加: 13名

記憶を集めておくために | 豊島区界

- 2013年1月15日(火)～2月14日(木)
- 1月15日(火) 散歩: 北区/界に立つ 岸井大輔 参加: 9名
- 15日(火) オープニングパーティー: ポットラッククラブとしま 区界編 ゲスト: EAT & ART TARO (アーティスト), diVISIONリサーチメンバー 会場: ラ・グロット 参加: 23名
- 17日(木) たずねる: 公園緑地課長に ゲスト: 石井昇 (豊島区土木部公園緑地課長) 会場: KUZAKAI SALON 参加: 13名
- 18日(金) 散歩: 板橋区/区界近くで飲める場所を探す 朝倉志帆 (リサーチメンバー) 参加: 4名

- 19日(土) 散歩: 北区/商店街をフィールドワークする 岸井大輔 参加: 4名
- 20日(日) 散歩: 北区/庭かもしれない 堤涼子 (リサーチメンバー) 参加: 3名
- 20日(日) トーク: 鉢とか路地とか ゲスト: 村山修二郎 (アーティスト), 堤涼子 会場: にわのとり 参加: 6名
- 22日(火) たずねる: アートプロジェクトのアーカイブについて ゲスト: 佐藤季青 (東京アートポイント計画プログラムオフィサー) 会場: としまアートステーション「Z」 参加: 9名
- 23日(水) トーク: アートプロジェクトを場に残す ゲスト: 佐藤慎也 (建築家/日本大学理工学部建築学科准教授) 会場: としまアートステーション「Z」 参加: 13名
- 26日(土) トーク: にしすがも創造舎×みらい館大明の可能性を探る ゲスト: 蓮池奈緒子 (NPO法人アートネットワーク・ジャパン代表), 荘司哲夫 (NPO法人いけぶくろ大明理事) 会場: 区民ひろば駒込 参加: 11名
- 26日(土) 散歩: 拠点見学会 会場: みらい館大明, にしすがも創造舎 参加: 5名
- 2月1日(金) たずねる: 人文地理学者に ゲスト: 著本健二 (人文地理学者/早稲田大学教授) 会場: 目白第二区民集会所
- 2日(土) 散歩: 新宿区/神田川に洗われる 鄭晶晶 (としまアートステーション構想インターン)
- 2日(土) トーク: まわしよみ新聞ワークショップ ゲスト: むつざとし (まわしよみ新聞オーナー) 会場: みらい館大明
- 3日(日) 散歩: 文京区/水窪川の壁)を地図に落とししてみる 岸井大輔
- 4日(月) 散歩: 長崎村/池袋村散歩 谷端川緑道で挨拶をする 馬淵かなみ (リサーチメンバー)
- 4日(月) トーク: 場を聞く ゲスト: アサダワタル (日常編集家), 北澤潤 (現代美術家/北澤八雲事務所代表) 会場: Jessica
- 7日(木) トーク: 演劇「diVISION」上演としての「step25 記憶を記録するために」を考える ゲスト: 森隆一郎 (東京文化発信プロジェクト室広報調整担当課長) 会場: としまアートステーション「Z」
- 9日(土) 散歩: 練馬区/エコレボさんと行く! 「&アート」めぐり ゲスト: 三浦あい (エコレボ)
- 10日(日) トーク: 落合道人と区界を推理する ゲスト: 北沢友宏 (落合地域学芸人) 会場: 高田第二区民集会所
- 13日(水) たずねる: 郷土資料館学芸員に ゲスト: 秋山伸一 橋口定志 (豊島区立郷土資料館学芸員) 会場: 豊島区男女平等推進センター
- 14日(木) 散歩: 目白を振り返る 藤景美 (リサーチメンバー)
- 14日(木) 散歩・トーク: 区界を遊ぶ ゲスト: 大山頭(写真家) 会場: 巣鴨第三区民集会所
- 展示: 豊島区界を片付けて置く 会場: としまアートステーション「Z」
- 1月22日(火), 23日(水) 公開整理
- 27日(日)～資料閲覧



虫をつくる ワークショップ

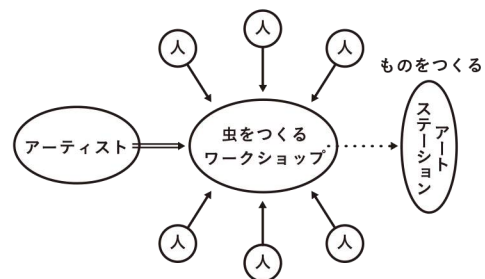
2012年4月～
〈会場〉としまアートステーション「Z」

ひびのこづえが、舞台衣装などの制作に使用した生地で、参加者一人ひとりが想像上の「虫」のプローチをつくるワークショップを開催。毎月開催されるワークショップは、**創作の喜びを得ることができる**とともに、**新しい発見や出会いの場**となります。さらに、ワークショップの時間以外にも参加者たちが集い、**「虫」をつくる場が持続**していくことを期待しています。参加者によって生み出された「虫」の展示会も実施。

▶ アーティスト

ひびのこづえ (コスチューム・アーティスト)

1958年静岡県生まれ。東京藝術大学美術学部デザイン科視覚伝達デザイン卒業。毎日ファッション大賞新人賞、資生堂奨励賞受賞他、展示会多数。97年作家名を内藤こづえより改める。ファッション・デザイナーと異なる視点で独自のコスチュームをつくり続けており、広告、演劇、ダンス、バレエ、映画、テレビなど幅広い分野で活躍している。現在NHK教育テレビ『にほんごであそぼ』のセット衣装を担当中。
<http://www.haction.co.jp/kodue>



▶ 活動

ワークショップ

2012年	
6月9日(土)	参加：61名
7月7日(土)	参加：90名
8月4日(土)	参加：90名
9月8日(土)	参加：66名
10月13日(土)	参加：80名
11月10日(土)	参加：43名
12月8日(土)	参加：92名
2013年	
1月12日(土)	参加：40名
2月9日(土)	
3月9日(土)	
1日2回開催	10:00～12:30 / 13:30～16:00

展示会 みんなの虫あつまれ!

2013年3月10日(日)～24日(日)



Miracle Water

をつくる。

2011年10月～2012年3月
 〈会場〉としまアートステーション「Z」
 雑司が谷近辺ほか

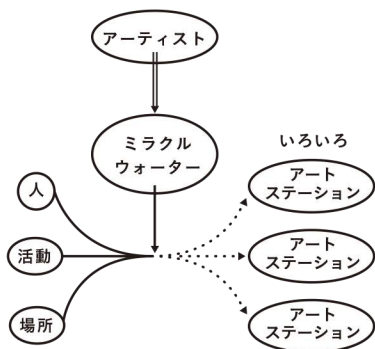
藤浩志の発案により、ジャンルを超えた面白い活動に「興味」という養分を注ぎ、潤いを与える**クリエイティブチーム**「ミラクルウォーター (Miracle Water)」を結成しました。アイデア、面白い活動、興味深い人、空き地、空き家を募集し、**地域に潜在する活動の「種」をリサーチ**するとともに、**その活動の発芽を見守る多様なイベントを開催**。そして、「Z」に大量のぬいぐるみを置き、**住民との交流の場**を図った「モコモコラボ」をオープンし、来場者とともにぬいぐるみ素材の活用法を考えました。

▶ アーティスト

藤浩志 [ふじ・ひろし] (美術作家)

1960年鹿児島生まれ。京都市立芸術大学在学中演劇活動に没頭した後、地域社会を舞台とした表現活動を志向し、京都情報社を設立。京都市内中心市街地や鴨川などを使った「京都アートネットワーク」の企画以来、全国各地のアートプロジェクトの現場で「対話と地域実験」を重ねる。同大学院修了後青年海外協力隊員としてバブアニューギニア国立芸術学校勤務。都市計画事務所勤務を経て92年、藤浩志企画制作室を設立。地域資源・適正技術・協力関係を活かした活動の連鎖を促す美術類のデモンストラレーションを多く実践している。

<http://geco.jp>



▶ 活動

モコモコラボ

2011年10月24日(月)～30日(日), 11月6日(日)～9日(水), 13日(日)～16日(水), 20日(日)～23日(水), 27日(日)～30日(水), 12月4日(日)～7日(水), 11日(日)～14日(水), 18日(日)～21日(水), 25日(日)～28日(水), 2012年1月8日(日)～11日(水), 15日(日)～18日(水), 22日(日)～25日(水), 29日(日)～2月1日(水), 5日(日)～8日(水), 12日(日)～15日(水), 19日(日)～22日(水), 13日(日)～16日(水), 13日(日)～16日(水), 26日(日)～29日(水), 3月4日(日)～7日(水), 11日(日), 12日(月), 25日(日)～28日(水)

イベント

2012年
 1月29日(日)
 サンドウィッチとサングリアとボサノヴァの会
 2月19日(日)
 ワークショップ ぬいぐるみでデコレーションしよう!
 3月4日(日)
 30秒に一回見つける写真道場!! 見つけ雑司が谷!! ゲスト:北川貴好(美術作家)
 3月28日(水)
 トークイベント:モコモコラボ最後の日 スピーカー:藤浩志、森司(東京アートポイント計画ディレクター)
 ほか

参加:65名



アートプロジェクト



豊島区内のさまざまな場所でアーティストによるプロジェクトを展開する取り組みです。アートの力で、街の新しい側面にスポットを当てる多様なプロジェクトは、刺激的で新鮮なアイデアを運んできます。豊島区に暮らす人びとが街に関わる契機となるとともに、想いをかたちに
するヒントとなります。



としま T O S H I M A
アート ART S T A T I O N
ステーション
構 K O S O 想

アートプロジェクト	2
アートサポート	18
シンポジウム	24



豊島区



東京文化発信
プロジェクト

としま TOSHIMA アート ART STATION ステーション 構 KOSO 想

豊島区 × NPO 法人アートネットワーク・ジャパン × 東京アートポイント計画

としま
TOSHIMA

アート
ART STATION

ステーション

構
想
KOSO

豊島区の実験 ii

「としまアートステーション構想」とは iv

アートプロジェクト vi

アートサポート vii

東京23区の北西部に位置する豊島区は、その中心である〈中央地域〉に池袋駅を有した副都心という面を持ちながら、〈南部地域〉の雑司が谷、目白、高田などは歴史や文化を反映し、坂道や緑豊かな街並みが特徴的な「東京／ローカル」とも呼べる街です。他にも大正から昭和にかけて多くのアーティストが住み、創作活動をおこなっていたアトリエ村「池袋モンパルナス」から芸術文化が花開いた〈西部地域〉、池袋の北に位置しJR埼京線や東武東上線などの3駅が近接する鉄道の利便性が高い〈北部地域〉、大塚、巣鴨、駒込などJR山手線が走り交通の便がよい〈東部地域〉など、さまざまな可能性を持つ地域資源にあふれています。

豊島区ではこれまでも文化施設の建設やイベントの実施を始めとした多様な文化事業がおこなわれてきました。こうした経験からも既に十分に豊かな街であるのかもしれませんが、しかし、時代の空気がめまぐるしく変わる今後の社会を考えたときに、豊島区だからこそ実現できる未来へ向けた実験をおこなうことが必要ではないでしょうか。その試みがとしまアートのステーション構想です。そしてこの構想の先に見据えるのは新しい公共活動のあり方。関わる人が主体的に文化活動をおこない、その活動がさらに多くの人の主体性を生むような未来の公共活動を目指します。

この事業は、東京都、豊島区、東京文化発信プロジェクト室、NPO法人アイトネットワーク・ジャパンの4者によりおこなわれ、持続的な文化事業を目指しています。そして区内に在住・在勤の方々はもちろん、アイトに携わる学生やアーティストなど豊島区に関わるすべての方々を対象としています。

昔から美術館や劇場のような文化施設は、作品を観るための場として親しまれてきました。ここ数十年で参加者が創作活動に関われる「ワークショップ」と呼ばれるプログラムも生まれ、文化施設は作品を「観る」だけの場ではなく、「つくる」こともできる場となりました。しかし「ハコもの」と揶揄されるような建物中心の事業展開は根強く残っており、地域に住む人びとが当事者、つまり「自分のこと」として、主体的に文化事業に関わるのはまだ難しいのが現状です。これからの文化事業に求められることは、建物を母体としたスペースや活動の機会の提供だけでなく、**個々人の自発的な活動を支援するシステム**をつくることではないでしょうか。

としまアートステーション構想は、こうした従来の文化事業の更新を考えて生まれた試みです。豊島区民を始めとするさまざまな人が、区内の魅力あふれる場所で地域資源を活用し、アート活動を展開できる「**環境システムの構築**」と、それによる「**コミュニティ形成の促進**」を目指しています。

多面的な顔を持ち、魅力あふれる場所の数々。この地で「何かを始めたい」という人たちの想い。そんな豊島区の可能性を活かすため、としまアートステーション構想では新しい施設の建設ではなく、**地域や人びとの想いをつなげるシステムづくり**を目指しています。自然に発生したささやかな活動が結び付くことで人や街とともに暮らすことができる、そんなきっかけをつくり出すための「**自分ごと**」の文化事業です。そのシステムとして、主体的なアート活動を実現するために「**アートプロジェクト**」と「**アートサポート**」のふたつの取り組みをおこなっています。

アートプロジェクトとは、街なかに出て、社会と関わり地域住民を巻き込みながら展開していくアート活動で、一九九〇年代より国内各地で盛んにおこなわれてきました。作品そのものよりも制作のプロセスを重視し、日常生活にはない出会いの機会を生むアートプロジェクトはこれからの文化事業にとって欠かせないものとなるでしょう。

としまアートステーション構想では、二〇一一年度から二〇一二年度にかけてアーティストたちによるアートプロジェクトを展開してきました。藤浩志による「Miracle Waterをつくる。」ではクリエイティブチームが地域に潜在する活動の種を探し、実際の活動へつなげるサポートをおこないました。ひびのこづえは参加者同士の関係性を生み出すため、恒常的なワークショップ「虫

をつくるワークショップ」をおこない、また岸井大輔の「Table」では演劇としての「こと」を起こすことを通して街なかの人や場所、活動をつなぎあわせていきます。阿部初美による「としまで子育て」では演劇の手法を用いて、子育てという社会的課題を参加者とともに考える場を生み出しています。L P A C K の「L A N D P A R K」は、ゆるやかな出来事を通して公共的な場のあり方について考え、E A T & A R T T A R O の「ポットラックパーティー」としま「や E A T & A R T T A R O と中山晴奈の「キッチンプロジェクト」では、食とアートをキーワードに人と人、人と街がつながるプロジェクトに取り組んでいます。

こうしたアートプロジェクトを通して、区内にある地域資源を活用したアートが提示されてきました。それは日常では気付くことのなかった新たな価値観や、自分でもやってみたいという意欲の発見につながります。自ら街の課題を考え解決に向かって動く、というような創造的な街への関わり方が生まれることを期待できるのではないのでしょうか。

アートサポートは、アートプロジェクトをきっかけに始まる豊島区民の自発的な活動を支援する役割を担います。

としまアートステーション構想ではさまざまなかたちでアートサポートを展開しています。区民の自発的なアイデアを受け、それを活かすために人と人、人と街をつなぐ役割を担います。そこから主体性のあるアート活動が始まり、持続していくことが期待されています。また雑司が谷にある千登世橋教育文化センター内の元カフェスペースを活用した、としまアートステーション「Z」では、地域に住む人びとやアーティストが集い、さまざまな情報交換や交流がおこなわれています。あるときはアート活動をスタートしたい人のための相談所、あるときはイベント会場、またあるときはコミュニティカフェ、と世代を越えてより多くの区

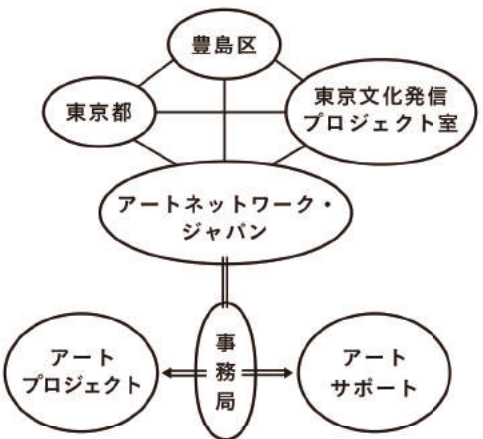
民が利用できる開かれた場所となることを目指しています。さらに、地域、アート、場づくりなどをキーワードに、さまざまな分野で活躍するゲストを迎え、アート活動の実践へ向けた勉強会を開催しています。

区民とアーティストが協働する「アートプロジェクト」と、それをきっかけに始まる自発的なアート活動を支援する「アートサポート」。こうした主体的に文化活動に関われる環境を用意することで区内のあちこちに「としまアートステーション」が生まれることを期待しています。それらの「アートステーション」は、自宅のような身近な場所を舞台とした等身大のささやかなアート活動ですが、3・11以降の社会ではこのような公共活動のあり方があらためて問われているのではないでしょうか。

用意された公共から主体性のある公共へ。アート活動を通じて「人と人」「人と街」の間に、強く暖かい絆が生まれる。豊島区をそのような街にしているためのアートを用いた試みです。

としま アートステーション構想

豊島区文化政策推進プランのシンボルプロジェクトである「新たな創造の場づくり」のプログラム及び東京文化発信プロジェクト事業「東京アートポイント計画」の一環として、NPO 法人アートネットワーク ワーク・ジャパンとの連携により実施しています。



豊島区の文化政策

豊島区は二〇〇三年三月に策定した「豊島区基本構想」のなかで、文化によるまちづくりを基本方針の柱の一つとして位置づけ、〇五年九月「文化創造都市宣言」、〇六年四月に「豊島区文化芸術振興条例」を施行、区民・NPO 法人・企業・大学等地域の人々とともに、「文化の風薫るまち としま」の実現に向け、さまざまな文化施策・事業を展開しています。このような長年にわたる取り組みが高い評価を受け、〇九年一月に東京都で初となる「平成二〇年度文化庁長官表彰（文化芸術創造都市部門）」を受賞しました。

東京アートポイント計画

東京の様々な人・まち・活動をアートで結ぶことで、東京の多様な魅力を地域・市民の参画により創造・発信することを目指し、「東京文化発信プロジェクト」の一環として東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団が展開している事業です。

NPO 法人アートネットワーク・ジャパン

二〇〇〇年に設立したアートNPOです。芸術の社会的な力を取り戻すために国際的視野を持って「フェスティバル／トーキョー」や「にじすがも創造舎」の企画運営を中心に、さまざまなプロジェクトを立ち上げています。東京都や豊島区をはじめとする自治体と強力なパートナーシップを組み、多くの文化事業を手がけています。

豊島区

東澤昭（二〇一二年三月）、吉末昌弘（二〇一二年四月） 文化商工部長
八巻規子 文化商工部文化デザイン課長
高橋由美 文化商工部文化デザイン課係長
高井真明（二〇一二年三月）、長谷川三保子（二〇一二年四月） 文化商工部文化デザイン課

東京文化発信プロジェクト室

森司 東京アートポイント計画ディレクター
坂本有理、井尻貴子 東京アートポイント計画プログラムオフィサー
NPO 法人アートネットワーク・ジャパン
蓮池奈緒子 アートネットワーク・ジャパン代表
細川浩伸、新妻薫子、宮崎あかり、渋谷由佳、米原晶子

としまアートステーション構想検討メンバー

西村佳吾 リビングワールド代表/プランニング、ディレクター/働き方研究者
トム・ウィンセント トループ・ネットワークス代表/インターネット、ディレクター
佐藤慎也 建築家/日本大学理工学部建築学科准教授

としまアートステーション構想事務局

ディレクター 佐藤慎也
チーフマネージャー 細川浩伸
コーディネーター 新妻薫子、冠那菜奈、西島響子
アドミニストレーター 宮崎あかり
インターン 藤原美、丸澤舞、野島品、山崎友貴
スタッフ 瀬切梨奈子、内野孝太

シンポジウム

「人とまちをつなぐアート／その新たな展開と可能性」

〈としま〉におけるアートプロジェクトのこれからについて語る！そしてその先に見える未来とは？

2011年10月24日（月）〈会場〉雑司が谷地域文化創造館 多目的ホール

基調講演では、北川フラム氏、中村陽一氏は共通して「既成の概念やシステムの問題が顕在化する時代において、自分たちが暮らす街で何かに真剣に取り組むことが大切である」と語りました。ディスカッションでは、システムの重要性とともに、システム完成後に生じる標準化や画一化が論点になりました。用意されたシステムの中に留まる活動が増えると、プロジェクトや表現が衰退してしまう可能性が指摘され、枠組みの中で活動が完結しない環境づくりについて議論されました。

参加：141名

▶ パネリスト

北川フラム（アートディレクター）

中村陽一

（立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科委員長・教授）

佐藤慎也（建築家／日本大学理工学部建築学科准教授）

東澤昭（豊島区文化商工部長（当時））

蓮池奈緒子（NPO法人アートネットワーク・ジャパン代表）

▶ モデレーター

森司（東京アートポイント計画ディレクター）



2年目のとしまアートステーション構想—アートで探る豊島区の可能性

2012年7月24日（火）〈会場〉としまアートステーション「Z」

文化的な地域資源を持ち、先駆的な文化政策を進めてきた豊島区だからこそ、従来のような施設などの直接的な提供にとらわれることなく、実験的な試みがおこなわれていることを再認識。これまでにない構想を実現するために悩みながら進んできた1年を振り返るとともに、主体性を尊重する構想には用意された解答がないため、模索を続けている現状が語られました。

参加：54名

▶ パネリスト

八巻規子（豊島区文化商工部文化デザイン課長）

佐藤慎也（建築家／日本大学理工学部建築学科准教授）

森司（東京アートポイント計画ディレクター）

▶ プレゼンター

岸井大輔（劇作家） 阿部初美（演出家）

EAT & ART TARO（アーティスト）

中山晴奈（フードデザイナー）

西村佳哲（働き方研究者）



としまアートステーション構想コンセプトブック 2011-12年度

発行日 平成25（2013）年2月15日

監修 佐藤慎也、森司

編集・執筆 としまアートステーション構想事務局

編集協力 小宮裕介（現代企画室）、佐藤恵美

写真 富田了平、としまアートステーション構想事務局

アートディレクション FLATROOM

印刷 株式会社ツーカーネット

発行 としまアートステーション構想事務局

〒171-0032 東京都豊島区雑司が谷3-1-7

千登世橋教育文化センターB1F としまアートステーション「Z」

© 2013 Toshima Art Station KOSO

Zの会

2011年8月～
〈会場〉としまアートステーション「Z」

としまアートステーション構
想に関わるすべての人びとの
ために、「Z」で開催される**公開勉強会**です。さまざまな分
野で活躍しているゲストを招
き、そこで得た知識や方法を
活かしながら、**自発的なア
ート活動の実践に役立てていき
ます。**

また「Zの会」の特別編とし
て、「**ともに生きてゆく**」と
いう欲求を巡って、それを可
能にする技術を「語る」「つ
くる」「暮らす」の3つのシー
ンにわけて模索する勉強会を
開催。西村佳哲の企画・進行
により、各回2名のゲストを
各地から招き**トークセッシ
ョンとワークショップ的な時間**
を織り交ぜた5時間にわたる
プログラムを実施しました。

▶ 活動

2011年
8月31日(水)
Zのおひろめ
ゲスト：須川咲子(Social Kitchen 運営 hanare デ
ィレクター) 参加：41名

10月11日(火)
自分の場所をみんなのために開くこと
ゲスト：アサダワタル(日常編集家/事編
kotoami 代表) 参加：18名

11月30日(水)
使われなくなった場所を使うこと
ゲスト：嶋田洋平(建築家/らいおん建築事務所
代表) 参加：22名

12月19日(月)
ソーシャルメディアを使うこと
ゲスト：濱野智史(評論家/情報環境研究者)
参加：25名

2012年
1月20日(金)
創造活動をおこなう人を支援すること
ゲスト：杉崎栄介(アーツコミッション・ヨコハ
マ担当リーダー) 参加：11名

2月3日(金)
地域で人をつなぐこと シカを食しながら
ゲスト：友廣裕一(つむぎや代表) フードコー
ディネート：EAT & ART TARO 参加：29名

2月28日(水)
街と関わる中で考えたこと
ゲスト：岸井大輔(劇作家) 参加：14名

2013年
1月29日(火)
毎日通える〈文化〉の場をつくること
ゲスト：山本和豊(dessence) 参加：10名

特別編「ともに生きる技術」

▶ ファシリテーター

西村佳哲 [にしむら・よしあき]
(リビングワールド代表/プランニング・ディレ
クター/働き方研究家)

1964年東京生まれ。武蔵野美術大学卒。つくる・
書く・教える、三種類の仕事。建築分野を経て、
ウェブサイトやミュージアム展示物、公共空間
のメディアづくりなど、各種デザインプロジェ
クトの企画・制作ディレクションを重ねる。多
摩美術大学、京都工芸繊維大学 非常勤講師。著
書に「自分の仕事をつくる」(ちくま文庫)など。

▶ 活動

2012年
9月2日(日) 語る
ゲスト：橋本久仁彦(シアター・坐・フェンス代表)、
西原由記子(東京自殺防止センター元所長) 参加：
37名

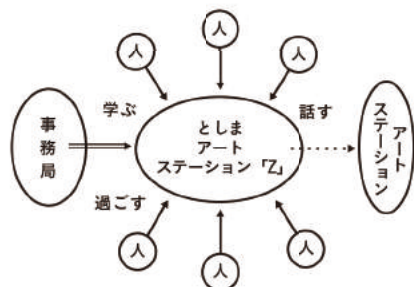
10月7日(日) つくる
ゲスト：友廣裕一(つむぎや代表)、笹尾千草(コ
ラボラトリー代表) 参加：27名

11月4日(日) 暮らす
ゲスト：影山知明(NPO法人コレクティブハウジ
ング社前代表理事)、坂倉吉介(慶應義塾大学講師/「芝
の家」運営) 参加：27名



としま アートステーション「Z」

としまアートステーション構
想の拠点として、さまざまな
活動がおこなわれる場所。豊
島区雑司が谷の千登世橋教育
文化センター内にある、キッ
チンを持った元カフェスパー
ス。区民とアーティスト、事
務局の情報交換・交流の場所
です。



▶ 概要

東京都豊島区雑司が谷 3-1-7
千登世橋教育文化センター B1F

東京メトロ副都心線「雑司が谷」駅 2 番出口直結
都電荒川線「鬼子母神前」駅より徒歩 2 分

TEL : 070-5579-8538 (PHS)
E-mail : tolawase@toshima-as.jp

2011 年度来館者 : 1,582 名
2012 年度来館者 : 3,176 名
(イベント参加者を除く。2012 年度は 13 年 1 月までの集計)

アート コンシェルジュ

参加者の自発的なアイデアに
対して、自活性、継続性を促
すための相談をおこないます。
アートプロジェクトに参加し、
自分でアート活動を始めてみ
たいと思った方、アートを生
活や活動に取り入れたいと考
えている方、おこなっている
アート活動をより発展させたい
方へ、役立つ情報提供やア
ドバイスなどをおこないます。

▶ 活動

2012 年度相談件数 : 11 件





アートサポート



人と人、さらに人と街をつなぐ、みなさんのアート活動をサポートする取り組みです。想いをかたちにする手伝いをし、主体的な活動が始まることで、活動の持続も期待されます。そのための情報や時間のサポートをおこないます。

キッチンプロジェクト

2011年12月～
〈会場〉としまアートステーション「Z」

「食とアート」を通して人と人がつながる、「Z」のキッチンを活用した実験プロジェクト。中山晴奈の「食べるを分解する」では、テーマにあわせて食に携わるゲストを招き、昔ながらの宴会スタイルで食事を楽しみ、さまざまな出会いや会話が生まれる空間を創造しました。EAT & ART TAROが加わった「実験」では、みんなが集まる場をつくり出すとともに、地方の食材や外国の食文化などに触れ、その可能性を検証する実験をおこないました。

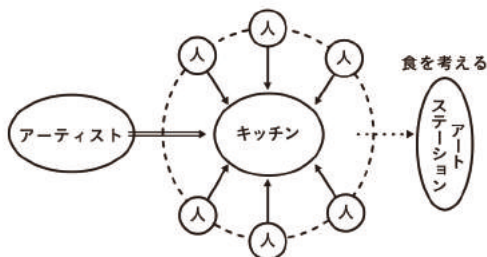
▶アーティスト

EAT & ART TARO (アーティスト)

PI4 参照

中山晴奈 [なかやま・はるな]
(フードデザイナー)

1980年千葉県生まれ。筑波大学卒業後、東京藝術大学大学院先端芸術表現を専攻し、修了後は会社勤務と並行して食のデザインで週末起業をする。2008年よりNEXT KITCHENの活動を開始、美術館や博物館で食を使ったコミュニケーションデザインや出張料理、ワークショップなどをおこなう。調理師専門学校や美術大学の講師も務める。SFC研究所上席所員(訪問)として、地域と食のプロジェクトにも参加。2012年よりNPO法人フードデザイナーズネットワーク理事。
<http://fooddesigners.net>
<http://nextkitchen.net>



▶活動

食べるを分解する (中山晴奈)

2011年
12月9日(金) まるごとカモを堪能するフルコース ゲスト:小野寺紀允(農家レストラン「菜あ」),坂本大三郎(イラストレーター/山伏) 参加:30名

2012年
1月19日(木) 食の仕事で食べていく ゲスト:森岡祥倫(フード&アートブックコレクター/東京造形大学教授),小松山聡子(山フーズ代表) 参加:34名

3月21日(水) サウンドフード・ラボラトリー ゲスト:オクダサトシ(ダンスカンパニー・コンドルズメンバー) 音響:大和田俊(音楽家) 参加:23名

実験 (EAT & ART TARO + 中山晴奈)

2012年
7月17日(火)
ダチョウのたまごと出会う 参加:27名

9月18日(火)
韓国のおせっかいなご飯を食べる 参加:12名

10月25日(木)
魚の価値を考える(メジカ) 参加:13名

11月29日(木)
続・魚の価値を考える(チョウザメ) 参加:11名

12月12日(日)
森を食べる(シイタケ) 参加:11名

2013年
1月18日(金)
その日の野菜から 参加:18名



ポットラック パーティーとしま

2011年11月～
〈会場〉としまアートステーション「Z」

EAT & ART TARO の設定した
テーマに沿って、商店や飲食店
から食品を購入し持ち寄り「食
を介したコミュニケーションを
通じて街と親しむ」パーティー
を開催。食べ比べながら、それ
ぞれが買って来た食べものや
お店、街の情報などを交換し、
語り合います。「としまポット
ラッククラブ」と名付けたクラ
ブも誕生しました。

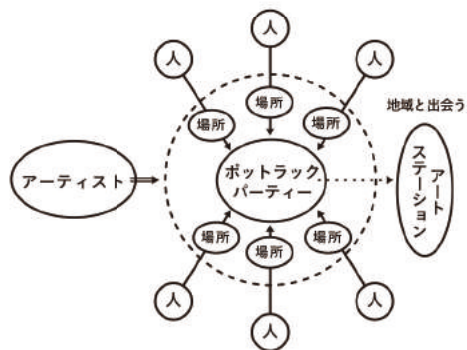
<http://potluckclub.web.fc2.com>

▶アーティスト

EAT & ART TARO
[イートアンドアート タロー] (アーティスト)

食をテーマにした作品をつくる現代美術ア
ーティスト。調理師学校卒業後、レストラン勤務
など飲食店での料理経験を経て、食に関するプ
ロジェクト作品制作、美術館のカフェなどのプ
ロデュース、さまざまなアートイベントのケ
ータリングなどを手がける。地域のアートイベ
ントや食育活動などに多数参加し、プロジェクト
作品を多く手がける。

<http://eat-art.s2.bindsite.jp>



▶活動

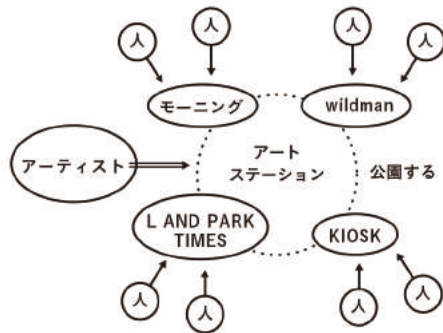
- 2011年
11月18日(金) 雑司が谷・目白エリア 参加：15名
12月18日(日) 雑司が谷・目白エリア | おやつ編
参加：6名
- 2012年
1月22日(日) 雑司が谷・目白・池袋エリア | パンに
合うもの編 参加：4名
2月22日(水) 雑司が谷・目白・大塚エリア | 酒のつ
まみ編 参加：6名
3月18日(日) 雑司が谷・目白・巣鴨エリア | 飯の友
編 参加：12名
5月19日(土) 豊島区エリア | 商店街編 参加：7名
6月27日(水) ショートケーキ編 参加：5名
10月31日(木) フランスパン編 参加：3名
12月9日(日) プリン編 参加：4名
- 2013年
2月6日(水) 板チョコ編



L AND PARK

2011年10月～
〈会場〉としまアートステーション「Z」ほか

L PACK とともに、**公共空間や公園について考える**プロジェクト。なんとなく“そこ”にいて、それぞれが思い思いに過ごしている場所を「公園」、 “そこ”で見られる、一人ひとりの自発的行為を「公園する」。そんな表現を使いながら、L PACK が「**公園する人**」の増えるきっかけづくりをおこないます。早朝の出会いを演出する「モーニング」、ゲストとともにいろいろな遊び方を試す「wildman」、公共空間を考える新聞「L AND PARK TIMES」、移動できる「KIOSK」の他に、「Z」を公園に見立てた展示「performance」も開催。



▶ アーティスト

L PACK [エルバック] (カフェユニット)

小田桐奨、中嶋哲矢によるカフェユニット。バックバックに詰めたカフェをさまざまな場所で開封し、「コーヒーのある風景」をつくりだす。コーヒーを媒体とした人との出会いやコミュニケーションの誘発と、臨機応変な空間演出により、街の要素のひとつになることを目指す。2007年よりコーヒーのケータリング活動開始。2010年～12年「亀宮美術旅館」(横浜)、2012年「現在民藝館丸山邸」

▶ 活動

L AND PARK

2011年10月20日(木)、26日(水)、30日(日)、
11月2日(水)、9日(水)、23日(水)、30日(水)、
12月7日(水)、14日(水)、21日(水)、
2012年1月11日(水)、18日(水)、25日(水)、
2月8日(水)、3月7日(水)

「L AND PARK TIMES」

～広げるだけで「公園する」ことができる新聞～
Vol. 1～10

「L AND PARK」で good morning

～たとえば、いつもより1時間早く起きて、モーニングを食べてみるとする～

2011年		
10月20日(木)	参加：9名	
26日(水)	参加：17名	
30日(日)	参加：6名	
11月30日(水)	フレンチトーストとカフェオレとハチミツ	参加：22名
12月21日(水)	参加：11名	
2012年		
1月25日(水)	冬っばい温かさ	参加：20名
2月29日(水)	朝のピクニック	参加：24名
3月21日(水)	L AND PARKで朝食を	参加：46名
8月19日(日)、20日(月)	フルーツ	参加：33名
9月9日(日)、10日(月)	野生	参加：42名
10月14日(日)、15日(月)	散歩する	参加：59名
11月11日(日)、12日(月)	積み重ねる	参加：42名

日曜日9：00～11：00 月曜日7：30～9：30
モーニング+コーヒー「L AND PARK TIMES」付き

「L AND PARK」と wildman

～そして、公園でやれることをやってみる～

2011年		
11月24日(木)	wildman：青島琢治(建築家)、敷浪一哉(建築家)	参加：8名
12月7日(水)	wildman：田村友一郎(アーティスト)	参加：7名
2012年		
1月11日(水)	wildman：櫻井淳(建築家)	参加：6名
18日(水)	wildman：安野太郎(作曲家)	参加：4名
2月8日(水)	wildman：辻琢磨(建築家)	参加：6名
3月14日(水)	wildman：快快 -faifai- (演劇カンパニー)	参加：8名

「L AND PARK」の performance

～それは公園なのかもしれない～

2012年3月14日(水)～21日(水)

「L AND PARK」の KIOSK

～とりあえず、何か買って過ごしてみる～



としまで子育て 子育てを考えるワークショップ

2012年9月～12月
〈会場〉としまアートステーション「Z」ほか
千登世橋教育文化センター内

さまざまな世代の参加者と、地域や社会の中における社会的課題「子育て」について考えるワークショップ。「子育てを母親ひとりに任せすぎています。この状況を、子育てに関わるいろいろな立場の人たちと共有しなければいけない」と言う、自身も子育て中の阿部初美の体験にもとづき考案されました。演劇の手法を用いて、参加者とともに子育てを考え、最後に映像インタビューやリーディングを交えた発表会を開催。

▶ アーティスト

阿部初美【あべ・はつみ】(演出家)

故太田省吾に師事後、2000年より演出家として活動。S.ベケット後期作品を多数演出後、2006年より、にしすがも創造舎レジデントアーティストとして、ドキュメンタリー的な作品『4.48サイコシス』『アトミック・サバイバー』『エコノミック・ファンタスマゴリア』を東京国際芸術祭などで発表。東京藝術大学・山口情報芸術センター・いわきアリオスなどでも講師を務める。2010年に出産。現在は育児をしながらワークショップを中心に活動中。

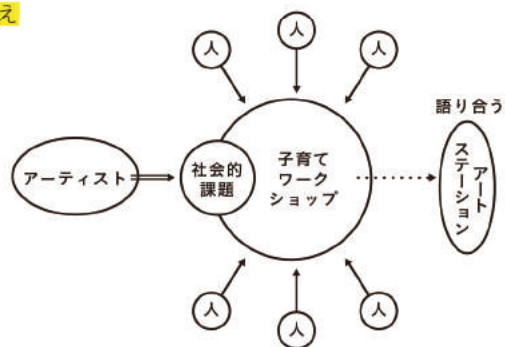
<http://abehatsumi.dreamlog.jp>

▶ 活動

ワークショップ

2012年	
9月6日(木)	参加：12名
15日(土)	参加：9名
20日(木)	参加：11名
29日(土)	参加：10名
10月4日(木)	参加：9名
18日(木)	参加：11名
20日(土)	参加：6名
27日(土)	参加：5名
11月8日(木)	参加：6名
18日(日)	参加：8名

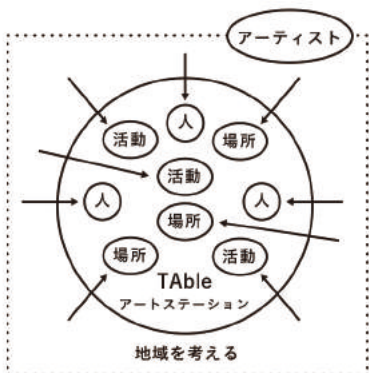
発表会 ランチ de ディスカッション
2012年12月2日(日) 参加：62名



Table

2012年4月～
〈会場〉豊島区内各所および区界近辺

岸井大輔による演劇プロジェクト。豊島区に潜在する可能性を話し合うため、いろいろな人が集う「テーブル」を探し、つくり、考えます。「としま」の頭文字「T」と、可能性を意味する「Able」を合わせ「Table」と名付けました。最初のプログラム「diVISION」では、他区との境界に注目しました。指示に沿ってリサーチメンバーが区界を調査した結果をWEB上に可視化。その調査報告プログラムとして、さまざまなゲストを招いての勉強会や対話、調査の現場をめぐる散歩、調査資料の展示などをおこなう「豊島区界」を展開しています。現在進行中のプロジェクト。



▶ アーティスト

岸井大輔 [きしい・だいすけ] (劇作家)

1970年生まれ。演劇の素材を人間の集団ととらえ、他ジャンルで追究された創作方法による形式化が、演劇においても可能かを問う作品群を制作発表している。2008年よりPLAYWORKS主宰。代表作『P』『potalive』『まちから創る』『文(かきことば)』『東京の条件』
プレイワークス <http://playworks.me>

▶ 活動

岸井大輔とまち歩き | 界に立つ

- 2012年
9月23日(日) 参加: 7名
10月28日(日) 参加: 13名
11月11日(日) 参加: 6名

豊島に潜在する可能性を調査し可視化する | diVISION

- 2012年9月1日(土)～2013年1月12日(土)
<http://divisiontable.web.fc2.com>
9月1日(土)～11月15日(木) step1～24
10月7日(日), 8日(月) step 13 区界上を歩いて、豊島区を1日で一周する 参加: 36名
12月15日(土), 21日(金), 22日(土),
2013年1月11日(金), 12日(土) step 25 記憶を記録するために(鑑賞者) 参加: 13名

記憶を集めておくために | 豊島区界

- 2013年1月15日(火)～2月14日(木)
1月15日(火) 散歩: 北区/界に立つ 岸井大輔 参加: 9名
15日(火) オープニングパーティー: ポットラッククラブとしま 区界編 ゲスト: EAT & ART TARO (アーティスト), diVISION リサーチメンバー 会場: ラ・グロット 参加: 23名
17日(木) たずねる: 公園緑地課長に ゲスト: 石井昇 (豊島区土木部公園緑地課長) 会場: KUZAKAI SALON 参加: 13名
18日(金) 散歩: 板橋区/区界近くで放める場所を探す 朝倉志帆 (リサーチメンバー) 参加: 4名

- 19日(土) 散歩: 北区/商店街をフィールドワークする 岸井大輔 参加: 4名
20日(日) 散歩: 北区/庭かもしれない 堤涼子 (リサーチメンバー) 参加: 3名
20日(日) トーク: 鉢とか路地とか ゲスト: 村山修二郎 (アーティスト), 堤涼子 会場: にわのとり 参加: 6名
22日(火) たずねる: アートプロジェクトのアーカイブについて ゲスト: 佐藤李青 (東京アートポイント計画プログラムオフィサー) 会場: としまアートステーション「Z」 参加: 9名
23日(水) トーク: アートプロジェクトを場に残す ゲスト: 佐藤慎也 (建築家/日本大学理工学部建築学科准教授) 会場: としまアートステーション「Z」 参加: 13名
26日(土) トーク: にしすがも創造舎×みらい館大明の可能性を探る ゲスト: 蓮池奈緒子 (NPO法人アートネットワーク・ジャパン代表), 荘司哲夫 (NPO法人いけぶくろ大明理事) 会場: 区民ひろば駒込 参加: 11名
26日(土) 散歩: 拠点見学会 会場: みらい館大明, にしすがも創造舎 参加: 5名
2月1日(金) たずねる: 人文地理学者に ゲスト: 著本健二 (人文地理学者/早稲田大学教授) 会場: 目白第二区民集会所
2日(土) 散歩: 新宿区/神田川に洗われる 鄭晶晶 (としまアートステーション構想インターン)
2日(土) トーク: まわしよみ新聞ワークショップ ゲスト: むつさとし (まわしよみ新聞オーナー) 会場: みらい館大明
3日(日) 散歩: 文京区/水窪川の壁)を地図に落としみる 岸井大輔
4日(月) 散歩: 長崎村/池袋村散歩 谷端川緑道で挨拶をする 馬淵かなみ (リサーチメンバー)
4日(月) トーク: 場を開く ゲスト: アサダワタル (日常編集家), 北澤潤 (現代美術家/北澤八雲事務所代表) 会場: Jessica
7日(木) トーク: 演劇「diVISION」上演としての「step25 記憶を記録するために」を考える ゲスト: 森隆一郎 (東京文化発信プロジェクト室広報調整担当課長) 会場: としまアートステーション「Z」
9日(土) 散歩: 練馬区/エコレボさんと行く! 「&アート」めぐり ゲスト: 三浦あい (エコレボ)
10日(日) トーク: 落合連人と区界を推理する ゲスト: 北沢友宏 (落合地域学芸人) 会場: 高田第二区民集会所
13日(水) たずねる: 郷土資料館学芸員に ゲスト: 秋山伸一・橋口定志 (豊島区立郷土資料館学芸員) 会場: 豊島区男女平等推進センター
14日(木) 散歩: 目白を振り返る 藤原美 (リサーチメンバー)
14日(木) 散歩・トーク: 区界を遊ぶ ゲスト: 大山顕 (写真家) 会場: 巣鴨第三区民集会所
展示: 豊島区界を片付けて置く 会場: としまアートステーション「Z」
1月22日(火), 23日(水) 公開整理
27日(日)～資料閲覧



虫をつくる ワークショップ

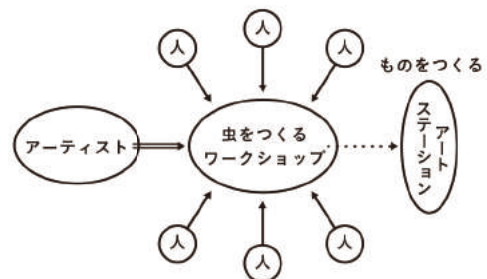
2012年4月～
〈会場〉としまアートステーション「Z」

ひびのこづえが、舞台衣装などの制作に使用した生地で、参加者一人ひとりが想像上の「虫」のプローチをつくるワークショップを開催。毎月開催されるワークショップは、**創作の喜びを得ることができる**とともに、**新しい発見や出会いの場**となります。さらに、ワークショップの時間以外にも参加者たちが集い、「虫」をつくる場が持続していくことを期待しています。参加者によって生み出された「虫」の展示会も実施。

▶ アーティスト

ひびのこづえ
(コスチューム・アーティスト)

1958年静岡県生まれ。東京藝術大学美術学部デザイン科視覚伝達デザイン卒業。毎日ファッション大賞新人賞、資生堂奨励賞受賞他、展示会多数。97年作家名を内藤こづえより改める。ファッション・デザイナーと異なる視点で独自のコスチュームをつくり続けており、広告、演劇、ダンス、パレエ、映画、テレビなど幅広い分野で活躍している。現在NHK教育テレビ『にほんごであそぼ』のセット衣装を担当中。
<http://www.haction.co.jp/kodue>



▶ 活動

ワークショップ

2012年	
6月9日(土)	参加: 61名
7月7日(土)	参加: 90名
8月4日(土)	参加: 90名
9月8日(土)	参加: 66名
10月13日(土)	参加: 80名
11月10日(土)	参加: 43名
12月8日(土)	参加: 92名
2013年	
1月12日(土)	参加: 40名
2月9日(土)	
3月9日(土)	
1日2回開催	10:00～12:30 / 13:30～16:00

展示会 みんなの虫あつまれ!
2013年3月10日(日)～24日(日)



Miracle Water

.....

をつくる。

.....

2011年10月～2012年3月
 〈会場〉としまアートステーション「Z」
 雑司が谷近辺ほか

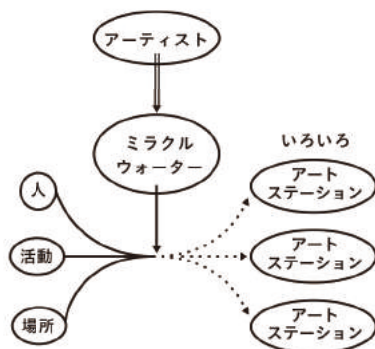
藤浩志の発案により、ジャンルを超えた面白い活動に「興味」という養分を注ぎ、潤いを与える**クリエイティブチーム**「ミラクルウォーター (Miracle Water)」を結成しました。アイデア、面白い活動、興味深い人、空き地、空き家を募集し、**地域に潜在する活動の「種」をリサーチ**するとともに、その**活動の発芽を見守る多様なイベント**を開催。そして、「Z」に大量のぬいぐるみを置き、**住民との交流の場**を図った「モコモコラボ」をオープンし、来場者とともにぬいぐるみ素材の活用法を考えました。

▶ アーティスト

藤浩志 [ふじ・ひろし] (美術作家)

1960年鹿児島県生まれ。京都市立芸術大学在学中演劇活動に没頭した後、地域社会を舞台とした表現活動を志向し、京都情報社を設立。京都市内中心市街地や鴨川などを使った「京都アートネットワーク」の企画以来、全国各地のアートプロジェクトの現場で「対話と地域実践」を重ねる。同大学院修了後青年海外協力隊員としてバブアニューギニア国立芸術学校勤務。都市計画事務所勤務を経て92年、藤浩志企画制作室を設立。地域資源・適正技術・協力関係を活かした活動の連鎖を促す美術類のデモンストレーションを多く実践している。

<http://geco.jp>



▶ 活動

モコモコラボ

2011年10月24日(月)～30日(日)、11月6日(日)～9日(水)、13日(日)～16日(水)、20日(日)～23日(水)、27日(日)～30日(水)、12月4日(日)～7日(水)、11日(日)～14日(水)、18日(日)～21日(水)、25日(日)～28日(水)、2012年1月8日(日)～11日(水)、15日(日)～18日(水)、22日(日)～25日(水)、29日(日)～2月1日(水)、5日(日)～8日(水)、12日(日)～15日(水)、19日(日)～22日(水)、13日(日)～16日(水)、13日(日)～16日(水)、26日(日)～29日(水)、3月4日(日)～7日(水)、11日(日)、12日(月)、25日(日)～28日(水)

イベント

2012年
 1月29日(日)
 サンドウィッチとサングリアとボサノヴァの会
 2月19日(日)
 ワークショップ ぬいぐるみでデコレーションしよう!
 3月4日(日)
 30秒に一回見つける写真道場!! 見つけ雑司が谷!! ゲスト:北川貴好(美術作家)
 3月28日(水)
 トークイベント:モコモコラボ最後の日 スピーカー:藤浩志、森可(東京アートポイント計画ディレクター)
 ほか 参加:65名



アートプロジェクト



豊島区内のさまざまな場所でアーティストによるプロジェクトを展開する取り組みです。アートの力で、街の新しい側面にスポットを当てる多様なプロジェクトは、刺激的で新鮮なアイデアを運んできます。豊島区に暮らす人びとが街に関わる契機となるとともに、想いをかたちに
するヒントとなります。



としま TOSHIMA
アート ART STATION
ステーション
構 KOSO 想

アートプロジェクト	2
アートサポート	18
シンポジウム	24



豊島区



東京文化発信
プロジェクト

としま TOSHIMA アート ART STATION ステーション 構 KOSO 想

豊島区 × NPO 法人アートネットワーク・ジャパン × 東京アートポイント計画